

6月29日(金)、第1回 学校運営協議会が開催されました。

☆保土ヶ谷養護学校では、学校運営協議会の委員として、次の方々に委嘱しております。

【平成30年度 保土ヶ谷養護学校 学校運営協議会委員】

委員氏名	所属・役職名
渡部 匡隆	横浜国立大学大学院教育学研究科・教授
浅野 和則	日立ゆうあんどあい・代表取締役社長
栗原 敏郎	株式会社大協製作所・代表取締役会長
大上 和成	活動ホームふたまたがわ・理事長
松本 哲	光陵高等学校・校長
田中 久	権太坂境木地区連合自治会・会長
坂本 知子	保土ヶ谷養護学校PTA・会長
片岡 充彦	保土ヶ谷養護学校・校長

☆第1回 学校運営協議会の概要につきましては、次ページからの「神奈川県立保土ヶ谷養護学校における学校運営協議会開催結果」をご参照ください。

神奈川県立保土ヶ谷養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	平成30年度 神奈川県立保土ヶ谷養護学校 第1回 学校運営協議会		
開催日時	平成30年6月29日(金) 午前9時30分～11時30分		
開催場所	保土ヶ谷養護学校 視聴覚室		
(役職名) 出席者	会長：渡部 匡隆、副会長：浅野 和則 委員：大上 和成、田中 久、坂本 知子、片岡 充彦 事務局：向井 博幸、本間 修治、石塚 いづみ、村山 知美、三島 賢治 柏原 旭、川口 圭子 オブザーバー：藤田 肇(特別支援教育課)		
次回開催予定日	10月26日(金) 午前9時30分～12時00分		
問い合わせ先	神奈川県立保土ヶ谷養護学校 副校長 向井 博幸 TEL 045-714-0581 FAX 045-742-9716 フォームメール(※下記の箇所をクリックすると、お問い合わせフォームをご利用いただけます) 神奈川県立保土ヶ谷養護学校のホームページ(お問い合わせフォーム)		
下欄に掲載するもの	・ 議事録	議事概要とした理由	/
審議(会議)経過	○開会 (事務局) <ul style="list-style-type: none"> ・ 過半数の出席による本会成立を確認。 ・ 配付資料確認。 ・ 本会の公開原則とホームページによる事前告知確認。 1 委嘱状交付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本日より平成32年3月31日までの2年間の委嘱状を、校長より各委員に交付。 2 校長挨拶 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出席御礼。本日は様々な事をお示しし、承認をいただく予定である。資料「スタートアップガイド」にあるとおり、特別支援学校では本校含め4校が試行することとなった。従来の学校評議員会との違いは、端的に申し上げると「校長の求めに応じて」ということが基本的に外れ、この協議会の場で直接意見を述べることのできる合議制の機関ということ 		

	<p>である。学校教育計画と運営計画についてていねいに説明していきたい。</p> <p>3 事務局職員自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙名簿順に自己紹介。(欠席者について説明あり) <p>4 協議会委員自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別紙名簿順に自己紹介あり。(欠席2名) ・オブザーバー参加の特別支援教育課主幹の紹介あり。 <p>5 会長・副会長の選任</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則第7条により自薦他薦を募る。特になければ、事務局から会長として渡部氏、副会長として浅野氏にお願いしたい。 <p>(拍手承認)</p> <p>(両氏会長・副会長席に移動)</p> <p>(会長挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会として新たな一步を踏み出していくことになるが、自分自身の理解も十分ではないので協力をお願いしたい。学校の発展に尽力していきたい。 <p>(副会長挨拶)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光栄である。よろしくをお願いしたい。 <p>(以下、議事進行は渡部会長)</p> <p>6 今年度の学校運営について</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次第の(1)～(5)について事務局から説明してほしい。質疑応答は授業視察後にまとめて行いたい。 <p>(1) 学校の教育計画に関すること</p> <p>(校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校要覧 p 4～15を参照してほしい。特に大事にしていることとしてグランドデザインにもある「学びの連続性」ということである。小中高12年間の学びの連続性を大事にしていきたい。次に「わかる授業」ということである。教員は授業が本分であり、わかる授業を展開し子どもの主体性を引き出していきたい。三点目として、特別支援学校が共生社会の実現に向け何ができるかを考えていきたい。地域の自治会や企業と一緒に何ができるか真剣に考え、取組んでいきたい。 <p>この学校教育目標に沿って、各学部・グループの目標を立てて進めている。要覧 p 9以降に学校評価の視点を挙げている。この視点に沿って中間や年間の評価につき、本会の学校評価部会の折にご意見をいただければと思う。</p>
--	---

(2) 教育課程の編成に関すること

(教育企画GL)

- ・学校要覧のp10及び別紙「学校案内」と併せて見てほしい。案内に掲載のお花のイメージは、一人ひとりの子どもが本校の教育を通して育っていくことを表している。小学部では日常生活、中学部では社会生活、高等部では社会参加をキーワードとしたライフキャリアの拡大を念頭に各学部のテーマを設け、学部目標としている。具体的な教育課程は要覧p11～を参照してほしい。今後の課題として、平成32年の新学習指導要領施行を受け、合っているかについて点検し、自立と社会参加に向けた良いものとなるよう検討していきたい。

(3) 学校組織の編成に関すること

(副校長)

- ・要覧p21の組織図で本協議会の位置づけを確認してほしい。運営計画等の承認等の機能を有している。図のとおり、企画会議・各委員会・各グループ等が組織されている。3学部2分教室を下支えする校務グループで、各グループは3～4班で構成されている。要覧の職員名簿にあるとおり薬剤師等まで含めると185名という大勢のスタッフであり、効果的に運営していくことが求められている。

(4) 学校予算の執行に関すること

(5) 学校施設及び設備等の管理及び整備に関すること

(事務長)

- ・H30年度保土ヶ谷養護学校当初予算について、別添資料の補足をしたい。この表には人件費は含まれていない。細目11需用費は主に水光熱費や消耗品費、13委託費はスクールバス、19負担金は就学奨励費が主なものである。H29年度に比べ約640万円減額されているが、これは校舎や設備の老朽化対策として県に個別に予算要望をしており、29年度はそれらが640万円あったことによる。近年実施済み及び今後の工事予定は資料のとおりである。

7 授業の視察

(小学部2年と権太坂小学校4年との授業交流について)

(休憩)

8 質疑応答並びに学校設置部会に関する説明

(会長)

- ・ここまでの説明について、質問があれば出してほしい。

(質問なし)

- ・では続いて、事務局から学校設置部会について説明をしてほしい。

	<p>(教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別添資料をもとに「切れ目のない支援部会」について説明したい。 ・「3 部会とは」について、部会は協議会の企画・立案の実現に向けて協働するための実働組織であり、切れ目のない支援部会は特別支援学校共通の学校設置部会である。 ・「4 切れ目ない支援部会とは・・・」について、タテの支援としてライフステージに応じた支援、ヨコの支援として地域社会とかかわる際の支援が挙げられる。 ・「5 本校の切れ目ない支援部会の取組について」では、近隣校との交流があり、2分教室の設置高校との交流があるという特徴があるので、関係者が集まり情報交換、模索をしていきたい。またパラスポ地域交流イベントを一昨年度から年3回ほど実施しており、高校生や地域のサッカークラブの参加を得ている。実働のツールとしていきたい。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この部会の情報交換や協議等を行うメンバーはどうなっているか。 <p>(教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流先の各校の交流担当者をお願いしているところである。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域」というのはだれを想定しているのか。 <p>(教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までかかわっていただいている近隣校や分教室設置高校、近隣の方々と限定せず、幅広く捉えている。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見として聞いてほしい。「タテ」ということから入学前の幼保、卒業後各機関というところを大事にしていると思う。「ヨコ」では同じライフステージの立場の人とは今までも情報交換があると思うので、情報交換の相手に「タテ」の視点を入れ、「ヨコ」に学校だけでなく自治会など学校が成り立っているところの地域にメンバー参画してもらうことでより実効性のあるものを進めていただければ、と思う。 <p>(副会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の意見はコミュニティスクールの目的に沿ったものと思う。地域を大事にするということで賛成したい。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賛同も得られたので、加味しながら支援部会を進めていってほしい。 <p>(教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会の構成員は人数制限もなくフレキシブルにできるものだが、なか
--	---

なか絞れないところがある。

(会長)

- ・どこにターゲットを絞るか、学校が軸足をどこにおいて取り組んでいくか反映されると思う。重点を明確にしながら人選をしていただけたらと思う。

(委員B)

- ・高等部の学習として地域の公園清掃をしてもらっている。自治会の福祉に関する委員や民生委員と一緒に手伝っていた時期もある。地域としてかかわれることになるかと思う。学校と違う環境で、校内実習をということで自治会館を使って実習してもらっている。今年も6月の実習が終わったところ。これからも手伝えると思う。
- ・防災について、連合自治会では地域の防災拠点として年1回訓練をしているが、そこに養護学校のお子さんにまで声をかけるというところまではいっていない。これからの検討課題にしたい。権太坂境木の単一自治会としては、1700世帯で構成だが、年4回の訓練に約50名ずつ集めている。そこに入ってもらうことができるかもしれない。住民として養護学校在籍の家庭もある。

(会長)

- ・このまま質疑を続けたい。

(委員A)

- ・「学びの連続性」はとてもすばらしいと思う。社会に出て何が必要かということへ、うまく橋渡しができる教育が必要と思う。福祉に携わるようになって考えることがある。学習の中で社会に出た後、何が必要なのか取り扱ってもらいたい。
- ・交流の様子を見せてもらった。できれば個別支援学級の子どもとも関わりがあるとよい。来て帰るだけでもよいと思う。積み重ねが気持ちを作る。

(委員C)

- ・昨日、光陵高校PTAとPTA同士の交流会を持った。光陵高PTAには交通安全委員会があるとのことだった。互いの高校生が登下校時に道いっぱい広がったり、権太坂小児童の下校とスクールバスの運行、路上駐車などがあつたりして、大変な状況となっている。交通環境の全体的改善に協力して取り組めるとよい。

(教頭)

- ・切れ目のない支援部会の「タテ」のイメージについては、入学前の機関と小学部、高等部と卒業後の機関ではそれぞれ行っていることも

あり、部会としては交流のところにメンバーを絞ってみた。地域としては、パラスポイイベントに商店街のコーヒー豆販売店やサッカークラブに集まってもらっているのでここに絡むところでもタテの関係ができるかと思っている。

9 協議 テーマ「学びの連続性とわかる授業の推進」

(会長)

- ・このあとの協議のテーマを説明してもらい、意見交換していきたい。

(副校長)

- ・学校要覧 p 9～「学校評価」を参照されたい。前年度の結果を受けて今年度の目標としている。1～5の視点で具体的評価の観点を示している。1では視覚教材の活用でわかりやすい授業実践を進めることが、学びの連続性にもつながっていくと考えている。2の個別教育計画の活用には客観的なアセスメントの視点について学ぶことなどを挙げている。3では、小学部から卒業後を意識した教育展開のため進路先見学等を進めていく。4では共生社会実現に向けて取組の情報発信を強化し70%以上の肯定的評価を目指すとしている。第2回の協議会で皆さんから中間評価をいただきたいと考えている。

(会長)

- ・全体的に気づかれた点を聴いていきたい。

(副会長)

- ・協議会の目的は地域を大事にし地域との関係の中で学校が育っていくということなので、それに沿った取組がされるとよいと思う。今日の説明はそれに沿ったものになっていると考える。

(委員A)

- ・情報発信について、ホームページは一生懸命に発信されていると思う。やっていることは全部オープンにし発信することで、評価をいただけるだろう。
- ・職員の情報共有が大事だが、なかなか徹底しないと思う。わかっている人だけわかっているということになる。施設は小規模だがやはり課題として考えている。
- ・交流でも事前の打合せはあると思うが、目的が明確でないと「ゲームをして楽しかった」で終わってしまう。目に見えてわかるようにしてけるとよい。

(委員B)

- ・地元の自治会として学校から相談されたことは積極的に対応していきたい。先ほどのコーヒー豆販売店は福祉に意識の高いところで、民生委員

	<p>とも交流している。</p> <p>(委員C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災について、保護者としていざというときお世話になるのは地域であるという思いがある。PTAとしては、日本自閉症協会の『本人・家庭向けの防災ハンドブック』のURLをお知らせしているだけであり、もう少し目に触れられるようにしていきたいと思った。 <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要覧p9学校評価の説明について、これは一定の書式に基づいたものと思うが、評価の観点に数値目標のあるものも無いものもある。「全校で共有」といってもその評価は難しいと思うが、可能な限り数値化が進めばよいと思う。 <p>10 学校運営全般に係る委員による承認</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営全般に係る(1)～(5)、切れ目のない支援部会の事などを含めて、よろしければ拍手承認としたい。 <p>～拍手～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も学校は精力的に取り組んでほしい。 <p>(副校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動について、秋以降も会館の利用等をお願いしたい。 ・防災訓練について、ぜひ一緒にやっと思いこうと思うので、まず、職員が見学させていただきたい。 ・交通関係について、毎日の交通安全については人と車が入り乱れながらの状況である。近隣校とも情報交換して協力したい。 ・学校評価については具体的数値を伴って客観的評価ができるようにしていきたい。 <p>11 会長挨拶</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員Bからは地域の公園清掃や防災訓練、自治会館の利用について、委員Aからはうまく橋渡しできる教育推進や交流について、また情報発信と情報共有について、委員Cからは地域と一体となった交通安全の推進、副会長からはコミュニティスクールの主旨確認とこれからの取組推進についてそれぞれ貴重な意見をいただいた。引き続き尽力いただきたい。
<p>会 議 資 料</p>	<p>※添付なし</p>